

目 次

序 章 平和構築の諸アクターと調整の課題(稲田 十一)	1
1. 問題の背景と焦点	1
2. 「平和構築委員会」の設立	1
3. 本報告書の構成と内容	2
第一章 ポスト PKO から中長期的な開発支援への移行期と諸アクター間の調整(稲田 十一)	5
1. ポスト PKO の移行期の課題	5
2. 緊急人道・復興期から移行期の問題ーギャップ論	7
3. 各機関の政策・組織の平和構築と移行期への対応	12
4. 平和構築基金(PBF)の方向性と課題	20
第二章 治安部門改革(SSR)における諸アクターの活動(藤重 博美)	31
はじめに	31
1. SSR 活動の概要	32
2. SSR に参加する各ドナーの類型	40
3. 実際の SSR における諸アクターの活動	47
第三章 平和構築にかかる主要ドナー国の調整と平和構築委員会(佐渡 紀子)	67
1. 平和構築への関心の高まりと平和構築委員会の設立	67
2. 平和構築委員会と主要ドナー国の対応体制	70
3. 平和構築委員会と主要ドナー国間調整	75
4. 評価と展望	77
終 章 平和構築における諸アクター間の調整の今後の課題と方向(要約)(稲田 十一)	83
1. 平和構築基金(PBF)の課題と今後の方向	84
2. SSR に関わる諸アクター間の調整の課題と今後の方向	85
3. 平和構築委員会についての評価と今後の方向	86